

8月24日（土） 夏休み親子ふれあい木工教室を開催しました！

今年は、6家族、20人の方々が参加してくださいました。初めて参加して下さった方も、2年続けての参加の方も、皆さんとても熱心に、そして楽しく作品を完成させていました。暑い中お疲れ様でした。ありがとうございました。



8月24・25日 構造内覧会を開催しました！

島田市島 S様邸 木工事順調に進んでいます。お施主様は、9月2日より、塗装作業にとりかかりました。また、8月24・25日には構造内覧会を開催しました。25日は、あいにくの天候でしたが、構造に興味のあるお客様がご来場くださり、今しか見ることのできない内部の構造をご覧になりました。S様邸は12月に完成内覧会を開催の予定です。



(株)ナガイ 島田市牛尾510-2 TEL (0547) 45-3501

木くぼり

木がつくる住環境 湿度編 ①

No. 122 発行 '13 - 10月号

株式会社 ナガイ内
住まい教室 金谷教室

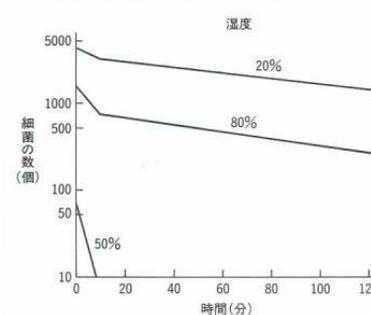
湿度は人間の生理、病気とも深い関係があります。細菌類、カビ類、ダニ類の微生物は、適度な湿度、温度のときに、室内のホコリを栄養源にして繁殖します。したがって、室内の衛生は、ホコリの除去とともに、微生物にとって好適な湿度、温度環境を作らないことが重要になります。

細菌類は、ホコリとともにカーペットなどの内部に潜り込み、人や物が動くと空中に舞い上がり浮遊菌となります。浮遊菌は、高湿度、低湿度では、長い時間生存し続けますが湿度が50%の状態では、大半が死滅します。

カビ類も人体に悪影響を及ぼします。カビの胞子は肺の奥まで入り込み、喘息や肺疾患などの原因になります。繁殖条件はダニ類と同じで、一般的に温度、湿度が高く、ほこりの多いところで繁殖します。ほこりを除去し、湿度が80%以上にならないような配慮が有効な防止策です。

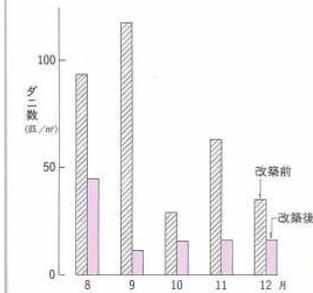
ダニ類による皮膚炎、アレルギー性疾患など健康上の問題は気密性の高いコンクリート住宅の急増に伴い表面化してきました。カーペット、ソファ、畳のほこりとともにダニ類は生息していますが、湿度が70%以下になると激減します。図は、コンクリート住宅のじゅうたん、畳をナラ材の床に改築し、改築前と改築後のダニ数を比較したものです。改築後は、ダニが減少していることがはっきり認められます。木の床は湿度が一定で、掃除機での吸引がしやすく、ダニが潜り込みにくいので、生息場所がなくなり、また木材には精油の一種のダニ繁殖抑制成分が含まれていることなどが、ダニ類減少の理由と考えられます。

図5 空中浮遊菌の生き残る割合と湿度



出典：『建築気候』共立出版(1976)

図6 改築前後におけるダニ生息数



出典：昭和62年度農林水産省試験報告(1987)

